

## 平成29年度 第1回 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

開会

委嘱状交付

委員紹介

挨拶

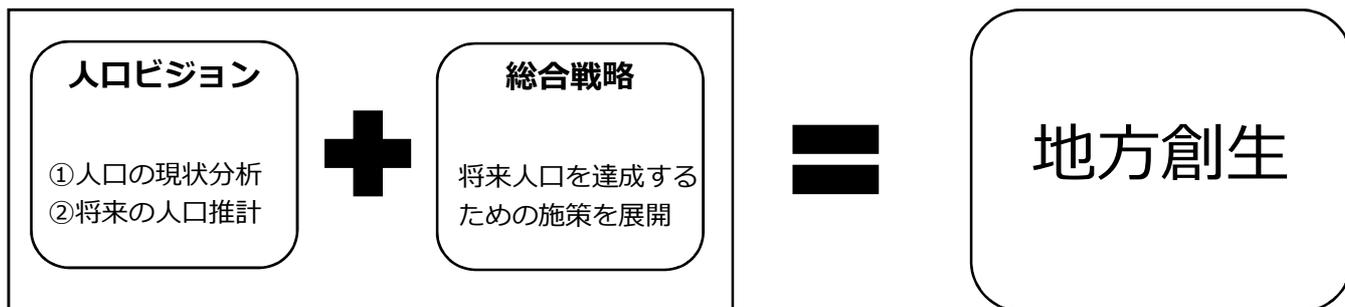
議題

- ①紀の川市人口ビジョン概要
- ②紀の川市総合戦略概要並びに事業体系
- ③紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略年間スケジュール
- ④地方創生加速化交付金の効果検証（案）
  - ・ローカル・ブランディング紀の川市
  - ・フルーツを核とした紀の川市シティプロモーション戦略推進事業
  - ・紀の川エリアおもてなし観光サイクリング推進
- ⑤地方創生推進交付金の申請内容
  - ・紀の川市フルーツエクスポート推進事業
  - ・紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド力強化事業
- ⑥紀の川市まちひとしごと創生総合戦略の改訂

その他

閉会

## 地方創生とは

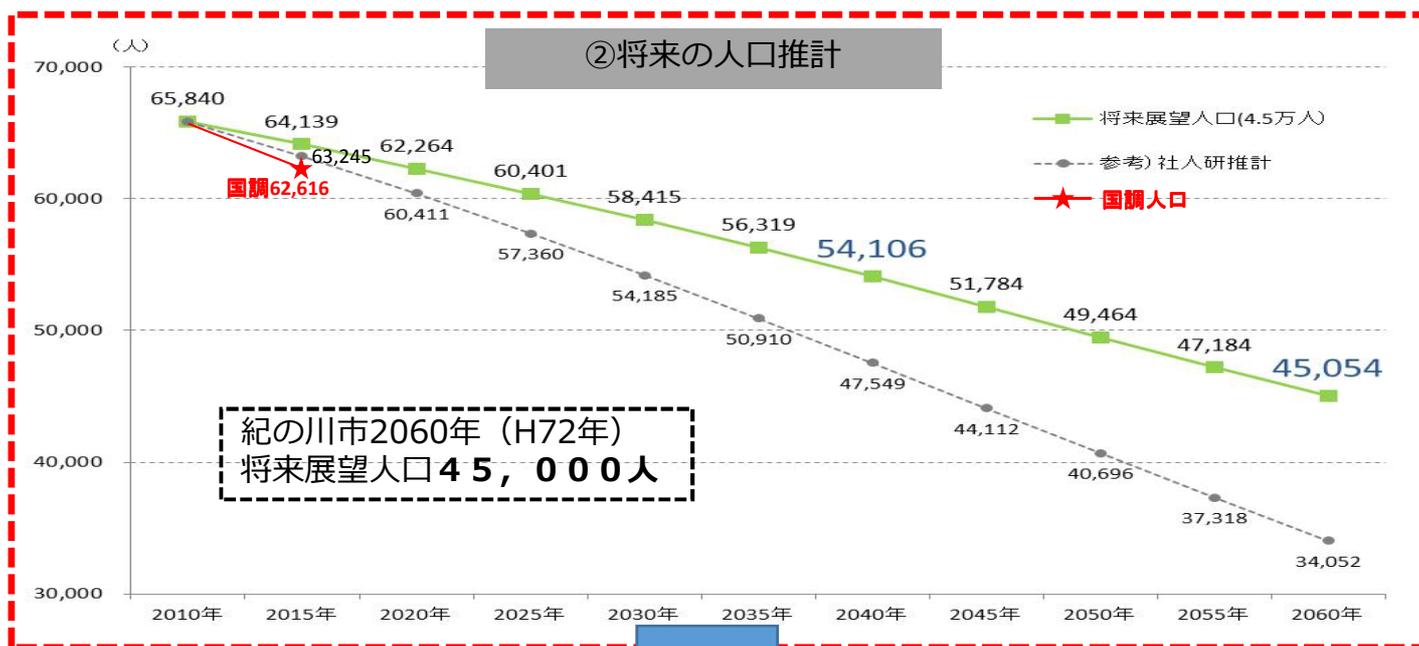


## 紀の川市人口ビジョン概要【平成27年9月策定】

### ①人口の現状分析(策定当時)

- 市の全体人口は9年で約3,900人減少
- 自然動態に起因する人口は年平均330人減少(出生・死亡)
- 出生率は国・県平均より低い(紀の川市：平成24年度1.20)
- 大阪府・和歌山市・岩出市への転出が多い
- 人口減少に対する施策を講じなければ紀の川市は2060年(平成72年)34,000人まで人口が減少する
- 超少子高齢化社会となり、年少人口は8%まで低下、高齢化率43%を超える
- 産業経済面では、労働力不足が生じ、地域経済の規模縮小や地域活力の低下等が懸念される
- 農業については高齢化と後継者不足により離農者や耕作放棄地が増加し農業生産力の低下が懸念される
- 男性は4人に1人、女性は3人に1人が65歳以上
- 社会動態に起因する人口は年平均216人減少(転入・転出)
- 20代・30代の女性人口減少が顕著
- 20歳から34歳までの男女の転出が多い

### ②将来の人口推計



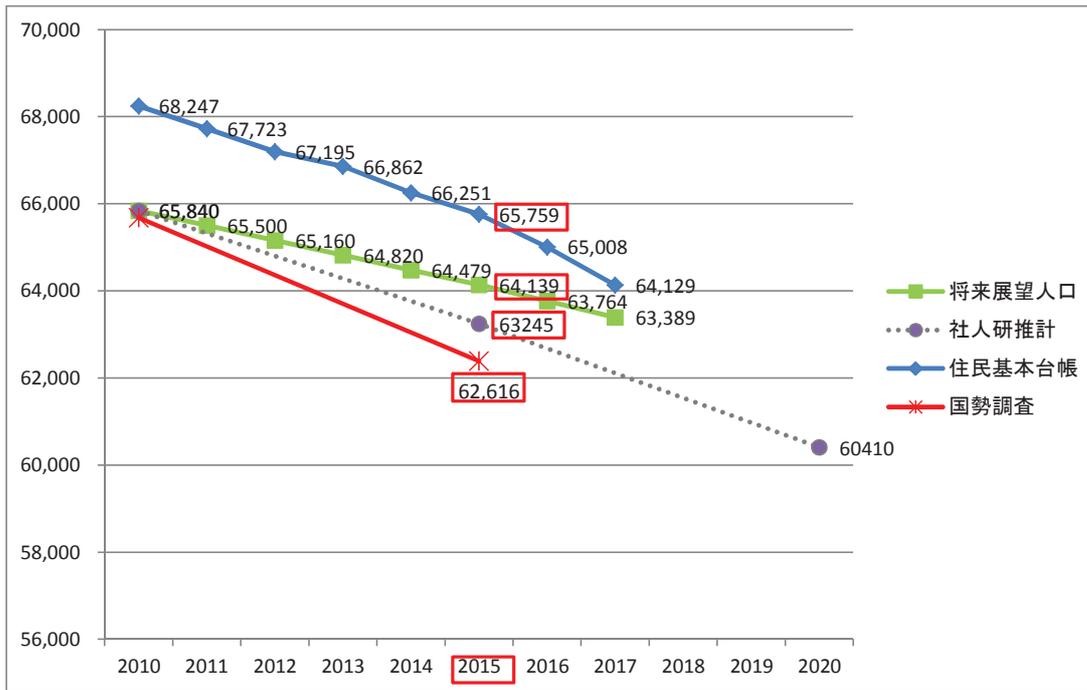
**社会増減を0にし、2025年に合計特殊出生率1.73を目指す**

※合計特殊出生率・・・15才から49才までの1人の女性が生涯に産む子供の平均数

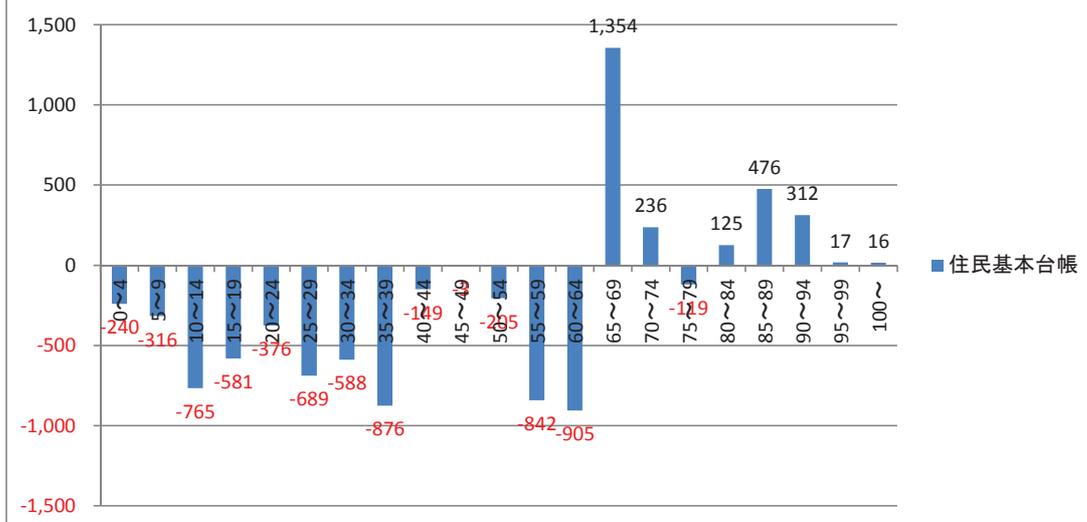
## 紀の川市総合戦略概要【平成27年12月策定】

- 基本目標①地域資源を活かした魅力あるまち ⇒ 地域ブランド化 / 大学との連携 / 移住定住
- 基本目標②魅力ある仕事・職場のあるまち ⇒ 魅力ある農業 / 雇用と起業の創出
- 基本目標③若い世代から選ばれるまち ⇒ 出会いと子育て支援 / 教育と住環境の充実
- 基本目標④安全安心で暮らし続けたいまち ⇒ 計画的なまちづくり

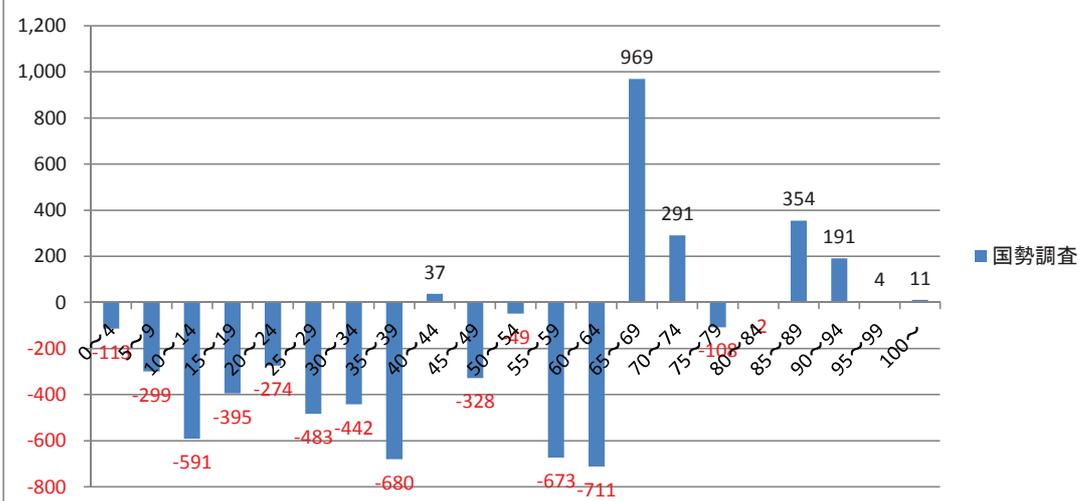
### 紀の川市人口推移資料



### 住民基本台帳H22～H29



### 国勢調査H22～H27



# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業体系一覧

基本目標	基本的方向	具体的施策	主な取り組み	事業名称	担当課		
地域資源を活かした魅力あるまち	フルーツを核とした地域ブランド化	フルーツのまちとしてのイメージアップ	1.観光プロモーション活動の強化	広報広聴事業	広報広聴課		
				観光ファン拡大事業	商工観光課		
				地域ブランド力向上事業	企画調整課		
				2.フルーツツーリズムの推進	観光ファン拡大事業	商工観光課	
				3.市民が中心となって行うイベントの開催支援	観光ファン拡大事業	商工観光課	
	近畿大学生物理工学部との連携	包括協定締結による総合的な連携の推進	1.包括協定に関する協議会を設立し、各分野での連携を推進				
			2.人事交流による情報交換、人脈形成を推進				
			3.新しいビジネスモデルの研究・構築				
			4.近畿大学水産研究所と連携した紀の川市産フルーツのPR及び販売促進について検討	地域ブランド力向上事業	企画調整課		
	移住定住の推進	情報発信と受入体制整備	1.移住ワンストップ窓口、受入支援団体の設立		移住・定住推進事業	企画調整課	
			2.地域おこし協力隊の活用		地域おこし協力隊活動事業	商工観光課	
			3.「紀の川市版CCRC」の推進				
			4.二地域居住の推進		移住・定住推進事業	企画調整課	
			5.新規就農者への支援		新規就農総合支援事業	農業林業振興課	
	地域資源の連携（既存資源のブラッシュアップ）	戦略的PRの展開	1.PR動画やキャッチコピーの制作		観光プロモーション強化事業	商工観光課	
					広報広聴事業	広報広聴課	
			2.わかやまフィルムコミッションとの連携強化		観光プロモーション強化事業	商工観光課	
				3.「紀の川市ええとこガイド」の作成		観光プロモーション強化事業	商工観光課
		交流プログラムの構築	1.農業体験と農家民泊の推進				
			2.アルテリョオ和歌山との協定による交流の推進				
3.アウトドア企業との連携による既存地域資源の活用							
4.「めっけもん広場」「和歌山電鐵貴志駅」からの誘客プランの構築				貴志川線存続支援事業	企画調整課		
				観光プロモーション強化事業	商工観光課		
5.周辺自治体との連携による広域観光ルートの確立				観光プロモーション強化事業	商工観光課		
観光基盤の整備		1.観光協会の一般社団法人化の支援			観光プロモーション強化事業	商工観光課	
		2.道の駅「青洲の里」を中心とした観光・情報発信拠点の整備			青洲の里管理運営事業	農業林業振興課	
	3.Wi-Fi整備			観光振興事業	商工観光課		
魅力ある仕事・職場のあるまち	魅力ある農業の実現	農業経営基盤の強化	1.販売チャンネルの多角化（国内外の販路開拓・拡大支援）				
			2.産直施設の充実支援				
			3.生産・経営基盤の強化支援		農業経営基盤強化促進事業	農業林業振興課	
					経営体育成支援事業	農業林業振興課	
			4.有害獣の駆除・防除の強化		有害鳥獣捕獲対策事業	農業林業振興課	
					有害獣被害防止対策事業	農業林業振興課	
		5.6次産業化の支援		6次産業化支援事業	農業林業振興課		
		6.（再掲）新しい農業ビジネスモデルの研究構築					
		フルーツの産地としての競争力強化	1.産地育成支援			果樹産地づくり支援事業	農業林業振興課
			2.推奨農産物への転換移行支援			果樹産地づくり支援事業	農業林業振興課
		人材育成・担い手育成	1.農家の世代交代支援			新規就農総合支援事業	農業林業振興課
			2.新規就農受入体制のネットワーク構築			新規就農総合支援事業	農業林業振興課
	3.（再掲）新規就農者への支援				新規就農総合支援事業	農業林業振興課	
	地域イノベーションによる産業活性化・雇用創出	市内企業の進行・活性化	1.市内企業間の連携・マッチング支援		立地企業連携事業	企業立地推進課	
			2.新たな企業間ネットワークの構築		立地企業連携事業	企業立地推進課	
			3.近畿大学生物理工学部と市内企業の共同研究支援				
		市内企業・商店・事業所の未来を担う地元人材の確保	1.市内企業・商店・事業所の求人情報発信支援		雇用対策事業	商工観光課	
	2.地元人材の受入体制の整備			雇用対策事業	商工観光課		
	新たな企業（起業）の創出	地域特性・資源に合った企業誘致	1.企業誘致の強化		企業誘致促進事業	企業立地推進課	
			1.創業支援相談窓口の利用促進		商工業資金利子補給事業	商工観光課	
起業・創業支援		2.商工会等との連携強化		商工会運営補助事業	商工観光課		
		3.サテライト・オフィスの開設支援		商工会商品券補助事業	商工観光課		

# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業体系一覧

基本目標	基本的方向	具体的施策	主な取り組み	事業名称	担当課	
若い世代から選ばれるまち	出会いから子育てまでの切れ目のない支援	出会い・結婚支援	1. 婚活活動支援事業	出会いと交流の場創出事業	企画調整課	
			2. 同窓会開催支援	出会いと交流の場創出事業	企画調整課	
			3. 企業間交流会の開催	立地企業連携事業	企業立地推進課	
		妊娠・出産環境の充実	1. 子育て世代包括支援センターの立ち上げの検討			
			2. 不妊治療助成の拡充	不妊治療助成事業	健康推進課	
			3. 妊婦健康診査費用の助成	妊婦健康診査助成事業	健康推進課	
			4. 産科医の確保			
		子育て支援	1. 子ども医療費助成	子ども医療費助成事業	国保年金課	
			2. 第3子保育料無料化	保育所運営事業	子育て支援課	
			3. 子育てハンドブック作成・配布	子育て支援事業	子育て支援課	
			4. ファミリー・サポート・センター事業の充実	子育て支援事業	子育て支援課	
			5. 放課後児童クラブ（学童保育）の環境の充実	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	
	6. 保育所統合等による施設充実		保育所運営事業	子育て支援課		
	7. 保育所等での低年齢児受入拡大		保育所運営事業	子育て支援課		
			私立保育園施設整備補助事業	子育て支援課		
	8. 特色ある保育・教育（保幼小の連携推進など）		私立保育園運営事業	子育て支援課		
	9. ひとり親家庭の支援の充実	ひとり親家庭医療費助成事業	国保年金課			
	教育環境の充実	特色ある学校教育の実践	1. 市独自の研究指定校制度の構築	中学校教育活動事業	学校教育課	
				小学校教育活動事業	学校教育課	
			2. 妊産期教育の実施	母子健全育成事業	健康推進課	
			3. フルーツ給食の実施	学校給食運営事業	学校教育課	
			4. 「世界一受けたいがんの授業」の充実	ピンクリボンキャンペーン事業	健康推進課	
				教育相談事業	学校教育課	
		5. 学校支援活動や放課後教育の充実		放課後児童健全育成事業	子育て支援課	
				就学支援体制構築事業	学校教育課	
				放課後児童健全育成施設整備事業	子育て支援課	
				放課後子ども教室事業	生涯学習課	
				青少年健全育成事業	生涯学習課	
				6. 日本体育大学との協定による交流の促進	スポーツ交流事業	生涯スポーツ課
	シビック・プライドの醸成	1. 市民憲章・市歌の普及推進				
		2. 市のことを知る地域学習の実施・強化	中学校教育活動事業	学校教育課		
			小学校教育活動事業	学校教育課		
3. 地域社会における地域活動の推進		地産地消・食育推進事業	農業林業振興課			
	4. 地域共育コミュニティの推進	自治振興事業	地域振興課			
住環境の充実	働きやすく暮らしやすい環境づくり	1. ワークライフバランスの実現に向けた市内企業への啓発	男女共同参画事業	企画調整課		
		2. 親子のふれあいの場創出	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課		
		3. 男女共同参画社会の推進	男女共同参画事業	企画調整課		
		4. 若い世代の定住促進支援				
安全安心で暮らし続けたいまち	安全なまちづくり（防犯・防災対策）	地域防犯力の向上	1. 地域見守り活動の強化（各種団体の連携）	学校教育推進事業	学校教育課	
			2. 防犯カメラの設置	地域安全推進事業	危機管理課	
		「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	1. 防災行政無線デジタル化事業	防災行政無線デジタル化事業	消防防災課	
			2. 自主防災組織の育成	危機管理対策事業	危機管理課	
			3. 児童防災教室の開催	防災訓練事業	危機管理課	
				小学生防災教室事業	危機管理課	
	健康寿命の延伸	1. ピンクリボンキャンペーンの推進		ピンクリボンキャンペーン事業	健康推進課	
				健康づくり事業	健康推進課	
				介護予防事業	高齢介護課	
				感染症対策事業	健康推進課	
				成人保健事業	健康推進課	
		2. 健康づくり事業の推進		がん検診事業	健康推進課	
				3. 健康ボランティア制度の創設		
			「絆・思いやりのあるまち」づくり	1. 自治組織への加入促進	自治振興事業	地域振興課
				2. 高齢者の見守り対策	高齢者自立支援事業	高齢介護課
	3. 買い物弱者対策	任意事業		高齢介護課		
	計画的なまちづくり（便利なまち）	京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進	1. 京奈和関空連絡道路整備促進	京奈和関空連絡道路促進事業	建設総務課	
		公共交通の充実	1. 和歌山電鐵貴志川線への支援	貴志川線存続支援事業	企画調整課	
			2. 地域巡回バス・府県間バスの利便性の向上	地域巡回バス運行補助事業	企画調整課	
			3. デマンド型交通の試行	路線バス運行補助事業	企画調整課	
		生活インフラ整備	1. 市道、歩道整備	地域巡回バス運行補助事業	企画調整課	
	2. 各施設の保全計画、長寿命化計画の策定推進		社会資本整備道路改良事業	道路河川課		
			行財政改革推進事業	企画調整課		

# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略年間スケジュール

項目	平成29年度																																						
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
1 効果検証シートを作成				作成期間 (交付金事業)																																			
2 担当課ヒアリング (兼：事務事業評価)							ヒアリング																																
3 まち・ひと・しごと創生本部会の開催										●本部会 (6/14)									●本部会 (未定)															●本部会(未定)					
4 まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会				依頼期間									●委嘱日(6/13) ●第1回審議会 (6/13)									●第2回審議会(未定)												●第3回審議会(未定)					
5 市議会へ検証結果報告 (総務文教常任委員会・全員協議会)										●総務文教常任委員会 (6/27)									●全員協議会 (7/7)															●総務文教常任委員会(未定)					
6 総合戦略改訂作業													改訂作業												改訂作業														
7 公表										●交付金事業をHPで公表												●一般財源分事業をHPで公表															●改訂版をHPで公表		

地方創生加速化交付金 効果検証シート（案）

交付金名	ローカルブランディング紀の川市		担当課	企画調整課	検証日	平成29年6月13日	
事業目的	全国有数の果樹産地を形成している一方、生産現場では農産物価格低迷に伴う生産規模縮小・販路の閉塞・農家数に至っては約26%(2000年と2015年対比)も減少し、基幹産業の維持継続が困難な状況に直面しているため、「稼ぐ力を創出」するために市場調査を実施し、データに基づいたマーケティングを展開する						
財源 (千円)		当初予算額	補正額	決算額	執行率	主な支出(千円)	
	国費	28,857	0	26,195	90.8%		地域ブランド力向上事業(21,016千円)
	県費	0	0	0	0		農産物販売促進事業(5,179千円)
	市費	0	0	0	0		
	事業費	28,857	0	26,195			

PLAN【計画】

計画概要	<p>■地域ブランド力向上事業</p> <p>ピーチアピエーションの顧客に対し「機内食の搭載」「機体へのステッカー貼付」「機内アナウンス」等のPRプロモーションと併せ、紀の川市産フルーツに関するアンケートを実施し海外販路の可能性を測定する事業</p> <p>■農産物販売促進事業</p> <p>近畿大学が消費圏で経営している2店舗へ、紀の川市産フルーツを旬の時期に配送し、一般消費者に美食して頂き、国内需要の傾向を図るためにアンケートを実施する事業</p>
------	--

DO【実行】

実施効果	<p>■地域ブランド力向上事業</p> <p>①期待できる海外市場と、現地消費者が好むフルーツの品目を特定した</p> <p>②PRのために機内食として提供していた氷菓を、継続して機内販売品として搭載する商談が整った</p> <p>■農産物販売促進事業</p> <p>①消費圏でのニーズ調査や好まれる加工品の傾向を測定した</p> <p>②フルーツの美食を通して首都圏・大阪圏で認知度を高めた</p>
------	--

CHECK【検証】

指標		単位	基準値	開始値	実績値	目標値	最終目標値
			H26	H27	H28	H28	H31
本事業の KPI	観光人口	万人	188	185.6	180.8	190	220
	地域ブランド調査による魅力度順位	位	-	276	652	260	200
	県フルーツ輸出货量(温州みかん・柿・桃)	t	-	460	445	463	1,342
	農産物販売金額	万円	-	383,197	-	387,029	398,756
総合戦略の 数値目標	社会増加数	人	▲176	▲376	▲394	▲71	0
	観光人口	万人	188	185.6	180.8	190	220

担当課評価		審議会（案）	
課題	ピーチアピエーション航空の就航地に絞り込み、アンケートを実施したため、その他各国の消費者ニーズや食習慣が把握できなかった	課題	

ACTION【改善】

担当課		審議会（案）	
改善案	本交付金を活用して「訴求すべきマーケット」に設定した香港・台湾以外への他国にも、更なる販路拡大を図るため市場調査を行う必要がある	改善案	

本部会（案）	
方針	

議会	報告日	平成29年 月 日
----	-----	-----------

地方創生加速化交付金 効果検証シート (案)

交付金名	「フルーツ」を核とした紀の川市シティプロモーション戦略推進事業		担当課	企画調整課	検証日	平成29年6月13日	
事業目的	「華岡青洲」・動物駅長の先駆けである「たま駅長」等の地域資源に恵まれ、国内外から集客はあるが、各資源の情報が散漫的で他の地域資源への政策的誘導が行えておらず、地域経済の活性化に貢献出来ていないという課題に対し効率的・効果的な情報発信により、地域資源のブラッシュアップを図り市内周遊型観光へ誘導する						
財源 (千円)		当初予算額	補正額	決算額	執行率	主な支出(千円)	
	国費	14,984	0	12,216	81.5%		シティプロモーション戦略事業(5,670千円)
	県費	0	0	0	0		交流拠点再整備基本構想・計画(4,255千円)
	市費	0	0	0	0		農産物販売促進事業(1,537千円)
	事業費	14,984	0	12,216			6次産業支援事業(754千円)

PLAN【計画】

計画概要	<p>■シティプロモーション戦略事業</p> <p>紀の川市の魅力をターゲットに合わせた的確に発信し、認知度の向上と交流人口の拡大を図る戦略を策定する</p> <p>■農産物販売促進事業</p> <p>都市部の市場関係者や消費者に対して、紀の川市産フルーツのトップセールスを行い販路維持と消費安定を図る</p> <p>■6次産業支援事業</p> <p>アンケート結果からニーズが高い商品を、6次産業で製品化する際の支援を行う</p>
------	--

DO【実行】

実施効果	<p>■シティプロモーション戦略事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単年周期の進捗を管理するために具体的な行動計画を策定した</li> <li>・訴求したいターゲット層の人材を、戦略策定段階から加入頂いた</li> <li>・「人と資源の交流拠点」として道の駅を再整備する基本構想と基本計画を策定した</li> </ul> <p>■農産物販売促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀の川市産フルーツの市場流通の安定化と、一般消費者への認知力を高めた</li> </ul> <p>■6次産業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧箱のデザインを開発</li> <li>・フルーツを使用した商品開発(調味料)</li> <li>・フルーツを使用した商品開発(アイスクリーム)</li> </ul>
------	--

CHECK【検証】

指標		単位	基準値	開始値	実績値	目標値	最終目標値
			H26	H27	H28	H28	H31
本事業の K P I	観光人口	万人	188	185.6	180.8	190	220
	市場流通におけるフルーツ主要6品目の販売額	万円	-	662,910	683,346	715,341	737,017
	地域ブランド調査による魅力度順位	位	-	276	652	260	200
	創業比率	%	-	-	-	1.44	2.00
総合戦略の K P I	社会増加数	人	▲ 176	▲ 376	▲ 394	▲ 71	0
	観光人口	万人	188	185.6	180.8	190	220

担当課評価		審議会(案)	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する既存資源だけでなく、新たに資源を掘り起こすことが必要</li> <li>・メディアに対する効果的なリリース方法を学ぶ機会が必要</li> </ul>	課題	

ACTION【改善】

担当課		審議会(案)	
改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外の方、若年層など違った様々な視点から紀の川市を捉える人材が必要</li> <li>・ターゲットにあわせた「情報の見せ方」を学習する</li> </ul>	改善案	

本部会(案)	
方針	

議会	報告日	平成29年 月 日
----	-----	-----------

地方創生加速化交付金 効果検証シート（案）

交付金名	紀の川エリアおもてなし観光サイクリング推進			担当課	県・紀の川市・岩出市	検証日	平成29年6月13日
事業目的	紀の川エリアは県内他地域に先駆けサイクリングロードが整備され、周辺道路の整備により京阪神・奈良・中京方面からのアクセスが大幅に向上している。こうしたハード整備が整ってきたことを好機とし、サイクリストが訪問しやすい環境づくりを行い、県外に向けて紀の川エリアのPR活動を実施する。						
財源 (千円)	当初予算額	補正額	決算額	執行率	主な支出(千円)		
	国費	9,520	0	9,520	100.0%	サイクリストおもてなし店関連 (2,006千円)	
	県費	0	0	0	0	レンタサイクル整備関連 (2,956千円)	
	市費	0	0	0	0	走行イベント関連 (320千円)	
事業費	9,520	0	9,520		広報関連 (4,238千円)		

PLAN【計画】

計画概要	<p>①サイクリストおもてなし店関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリストに対しておもてなしを行う店舗を認定</li> <li>・おもてなし店を自転車で周遊してもらうラリーイベントを実施</li> </ul> <p>②レンタサイクルの体制強化</p> <p>③紀の川エリアの特色を活かした走行イベントの実施</p> <p>④展示会等によるPR活動の実施</p>
------	--

DO【実行】

実施効果	<p>①-1 サイクリストに独自サービスを行う店舗にバイクラック等を提供し、「サイクリストおもてなしスポット」として登録。</p> <p>-2 「サイクリストおもてなしスポット」を周遊するシールラリーを開催（平成29年2月18日～3月20日）。</p> <p>② レンタサイクルを40台新たに購入し、団体対応可能な体制に整備。</p> <p>③ 紀の川エリアの特色を活かした走行イベントを2回開催。うち、1回はJR和歌山線と連携しサイクルトレインを実施。</p> <p>④-1 サイクルロード・インターナショナル2016・名古屋サイクルロード2017・サイクルドライブ大阪2017に出展し、県外に紀の川エリアをPR。</p> <p>-2 サイクリングマップ等のPRツールを新たに作成。</p>
------	--

CHECK【検証】

指標		単位	基準値	開始値	実績値	目標値	最終目標値
			H26	H27	H28	H28	H31
本事業の KPI	サイクリストおもてなし店	店	-	0	32	30	60
	レンタサイクル利用者	人	-	110	133	200	300
総合戦略の KPI	観光人口	万人	188	185.6	180.8	190	220

担当課評価		審議会（案）	
課題	紀の川エリアにおけるサイクリングは京阪神地域での認知度が上がっており、年々レンタサイクル利用者は増加している。しかし、団体向けのPRが不足している。	課題	

ACTION【改善】

担当課		審議会（案）	
改善案	県や岩出市の協力のもと、サイクリングコースのインフラが整備されつつあるので、今後は紀の川エリアとして、更に積極的な集客を図るため、周辺自治体との有機的な連携をもち、旅行会社等へツアー誘客など一体的な働きかけを行う必要がある	改善案	

本部会（案）	
方針	

議会	報告日	平成29年 月 日
----	-----	-----------

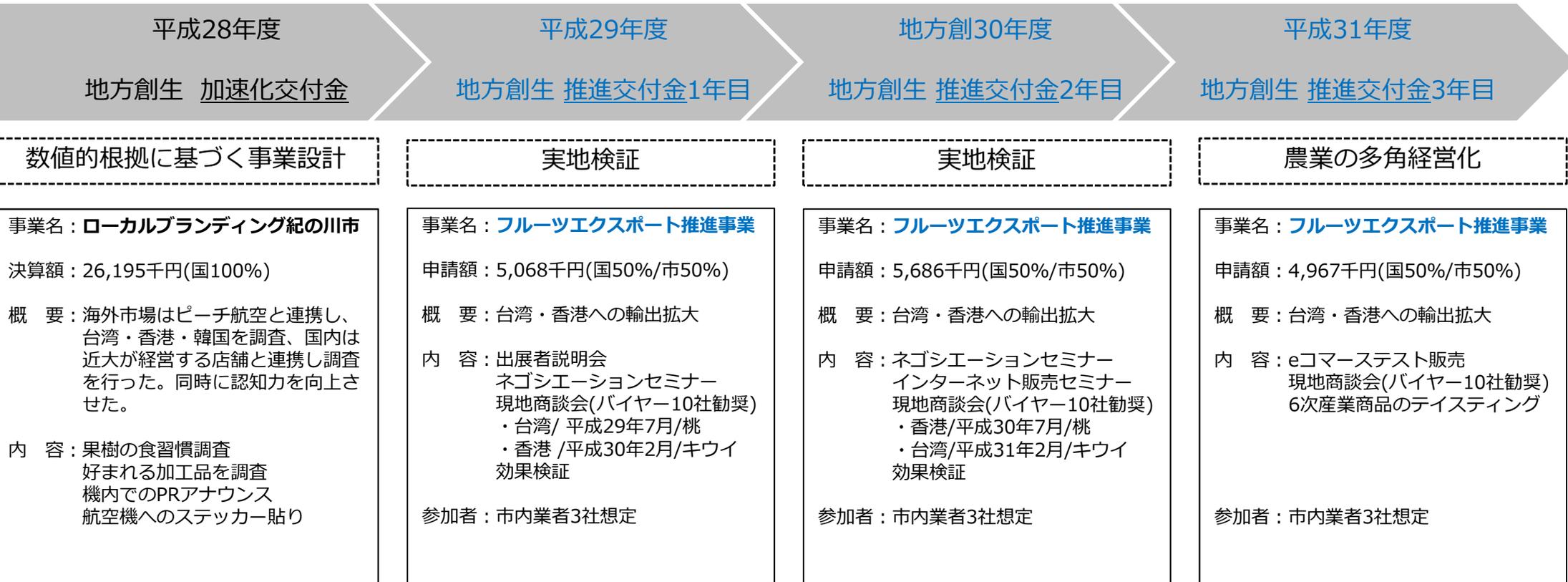
# 地方創生推進交付金の申請内容 《紀の川市フルーツエクスポート推進事業》

## 事業背景

農業政策の本質的課題である「農業者の所得拡大」を実現するために利益性を意識した「攻めの農業」への構造改革をすすめる。

## 事業のねらい

新たな販路と考える海外市場の動向を的確に捉え、紀の川市の地域資源である果樹類を積極的に輸出し、市場に合致した産地形成を目指す。



費用対効果を測定する数値	事業開始前	平成29年度増加分	平成30年度増加分	平成31年度増加分	増加分
台湾・香港への輸出額	115,945千円	1,159千円	1,171千円	1,182千円	3,512千円
小売業者との契約締結数	0件	3件	3件	3件	9件
フルーツの栽培を開始した新規就農者数	32人	4人	4人	4人	12人

# 地方創生推進交付金の申請内容 《紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド力強化事業》

**事業背景**  
 市内に点在している既存地域資源のブラッシュアップと新たな地域資源を掘り起こし「地域の稼ぐ力」を高める。  
**事業のねらい**  
 分野横断的な情報・資源・人材をパッケージ化し、交流人口と定住人口の促進を図り地域収入を高める。

平成28年度	平成29年度	地方創30年度	平成31年度
地方創生 加速化交付金	地方創生 推進交付金1年目	地方創生 推進交付金2年目	地方創生 推進交付金3年目
戦略策定	推進体制の構築	戦略的な情報発信	地域の稼ぐ力を創出
<p>事業名： <b>フルーツを核とした紀の川市シティプロモーション戦略推進事業</b></p> <p>決算額：12,216千円(国100%)</p> <p>概要：既存資源のブラッシュアップと、散漫的な地域資源の情報を包括に発信し、市内周遊型観光の準備をすすめる</p> <p>内容：①シティプロモーション戦略事業                  ・戦略策定費                  ・ブランドロゴ作成費                  ②交流拠点再整備基本構想・計画                  ・道の駅 青洲の里再整備                  ②農産物販売促進事業                  ・トップセール                  ③6次産業支援事業                  ・補助事業</p>	<p>事業名： <b>紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド力強化事業</b></p> <p>申請額：44,246千円(国50%/市50%)</p> <p>概要：主体性と実行性を兼ねそろえた紀の川市版DMOを設立し、フルーツを核とした周遊型観光の構築と、それに起因する新たな雇用を創出する</p> <p>内容：①シティプロモーション                  ・インナープロモーション                  ・プレスリリース講座                  ・学生プロモーター育成                  ②DMO                  ・観光動向調査                  ・地域資源発掘調査                  ・モニタリングツアー                  ・交流拠点整備</p>	<p>事業名： <b>紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド力強化事業</b></p> <p>申請額：20,751千円(国50%/市50%)</p> <p>概要：主体性と実行性を兼ねそろえた紀の川市版DMOを設立し、フルーツを核とした周遊型観光の構築と、それに起因する新たな雇用を創出する</p> <p>内容：①シティプロモーション                  ・プロモーション研修会                  ・コンセプトブック策定                  ・女子会ワークショップ                  ②DMO                  ・観光ビジネス人材費                  ・商品開発費</p>	<p>事業名： <b>紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド力強化事業</b></p> <p>申請額：20,609千円(国50%/市50%)</p> <p>概要：主体性と実行性を兼ねそろえた紀の川市版DMOを設立し、フルーツを核とした周遊型観光の構築と、それに起因する新たな雇用を創出する</p> <p>内容：①シティプロモーション                  ・youtuberコンテスト                  ・効果検証                  ・日本女子博覧会へ出展                  ②DMO                  ・観光ビジネス人材費                  ・商品開発費                  ・効果検証</p>

費用対効果を測定する数値	事業開始前	平成29年度増加分	平成30年度増加分	平成31年度増加分	増加分
観光人口【観光客入り込み客数】	188万人	5万人	11万人	16万人	32万人
新たな観光ルートの構築件数	0件	0件	2件	3件	5件
交流拠点利用者数	0人	0人	20,000人	50,000人	70,000人

# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂について

## ○現在の計画状況

計画名称	紀の川市長期総合計画（後期計画）	紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略
位置付け	市の最上位計画	長期総合計画を補完する戦略
策定年度	H25年3月	H27年12月
計画期間	H25年度～H29年度	H27年度～H31年度
備考	H30年度から開始の第2次計画を策定中	計画期間の中間年度のため、戦略の再検証が必要

## ○計画年度



## ○紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の方向性

H30年度に向け、H29年度中に次のことを実施予定

- ・行政評価制度の導入（PDCAサイクルの確立）
- ・新たな組織機構（市の施策に沿った体系への改編）

- ・紀の川市で真に必要な戦略内容になっているかを再検証し、戦略の内容を整理する。  
**（総花的戦略から、重点戦略への転換）**
- ・長期総合計画と整合性を持たせ、市の新たな基本方針等との連携を強化する。  
**（重点戦略としての位置付けを明確化）**
- ・長期総合計画と連動した行政評価制度を実施する。  
**（PDCAサイクルの確立、責任所在の明確化）**